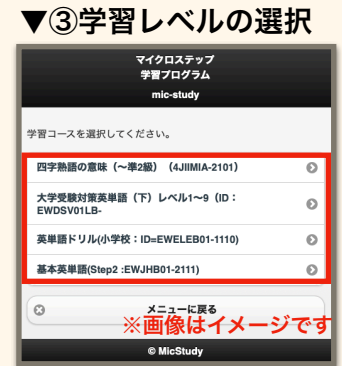


## 学習のはじめかた



- ①ログイン画面
- 学習アプリをタップ
  - グループID
  - 登録番号
  - パスワード
  - パスワードを再入力し（認証）をタップ



## ④学習開始

問題項目 (7/37)

次の問題をどのくらい答えられるかキーを押して判断してください

sample ◀この部分に問題が表示されます

▶ -0:00 ◀英単語の場合は音声流れます

この項目について到達度を判定してください。

▶ 答えを表示

- ⑤習得度の自己評価
- 2〜3秒問題の答えを考えた後で【答えを表示】をタップする。表示された答えと、自分の記憶とを比べて、良い〜全くダメの中から自己採点して選ぶ。判断の基準は個人の主観でOK！この時【全くダメ】な単語もその場で覚えようとしてはダメで次に進む。

！覚えようとしな！ ！数をたくさんこなす事を優先

## ⑥学習のポイント

- 単語が連続出題されることもある → 出題回数を計算しています。
- 判断を間違えても問題ない → 前にもどれなくても次に進む。

## ⑦アンケートに回答

1日分の学習の最後に表示されるアンケートに回答する。



- ⑧データの送信
- アンケートへの回答が終わるとデータの送信画面となる。

◀左のように【反応データ送信完了】の画面を確認したらその日の学習を終わってもOK。

## ここまでが1日分学習の目安

学習を途中で止めるとまたその日のはじめからスタートします。1日分の量を超えての学習は同じレベルの5日分までなら可能です。



それぞれの単語を選ぶと意味のリストが表示されます

その中から最適なものを選び回答します。

このとき、わからない単語は必ず【0:わからない】を選ぶ  
！カンで答えると正しい結果にならない！

## ⑨客観テスト

5日分に1回単語テストが出現10分程度で終わるのでなるべく中断しないようにします



## 学習を通しての禁止事項

- 以下のルールを守って正しく使用しましょう
- \* 視力低下につながる使用法は控えてください
  - \* 歩きスマホは絶対にやめましょう
  - \* 学校での使用は先生の指示に従ってください

## 学習のポイント

①あまり時間をかけすぎない  
この単語学習は、覚えようとしなくても大丈夫！見流すだけで成績が上がっていくという脳のしくみを生かしたドリル学習です。すきま時間で学習を進めましょう！

②簡単な難易度から着実に  
学習コースには複数の難易度が用意されています。一番下の学習レベルから始めて、順番に上の難易度に進んでいってください。

③どんどんやってください  
量をこなすことを最優先にして、一定期間取組めば、必ず成績は付いてきます！1日分の学習量はあくまで目安ですので、どんどん学習ステージをクリアしていきましょう。

## 保護者の方に読んでもらってください

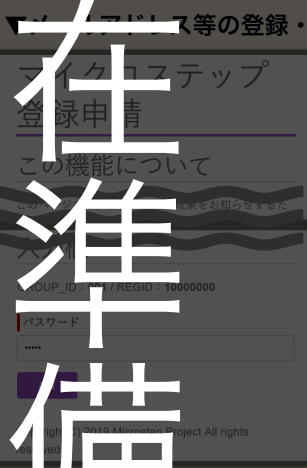
学習のスタートにあたり保護者の方のメールアドレスの登録とデータ解析への同意（任意）が必要です。

登録して頂くアドレスは学習の結果を通知するものとなります。普段よく使うものを登録してください。また、同じページ上でお子さまの学習データを今後の英語学習の研究などに活用することへの可否をお尋ねしています。内容をよく読んで今回のデータ使用に関して問題ない方は【同意する】を選択してください。同意するかどうかは任意です。

## 学習サイトログイン後の画面



- 登録方法  
学習サイトへログインし【メールアドレス更新】を選択します ※右上の学習のはじめかたも参考にしてください。



- 説明をよく読んだ後でメールアドレスの登録・更新のページにログインします。



- このパスワードは学習サイトへログインするものと同じです。

- 必要事項を入力しメインのメールアドレス等の情報を登録します。

- 学部を選択する項目は小中高のいずれかを選択します。

- サブのメールアドレスは空欄でも構いません。他の保護者の方等のアドレスを登録できます。

## 詳細なWEBマニュアルはこちら

マイクログラフ・スタディ全体に関することや、より詳しい説明は下記のWEBマニュアルをご参照ください。

マイクログラフ・スタディ | 検索  
マイクログラフ・スタディWEBマニュアル  
<https://micsp-study.jimdofree.com>

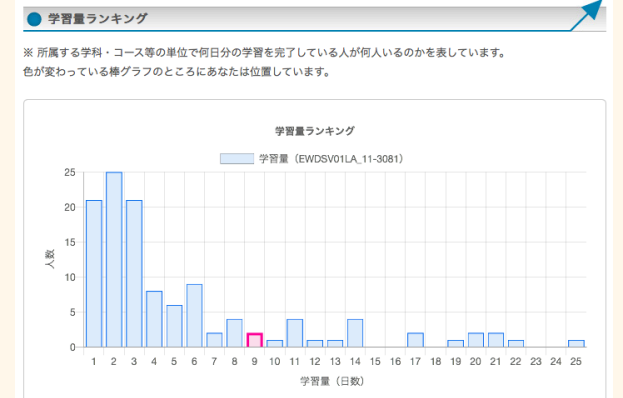


## 学習結果の確認

マイクログラフ・スタディの成績のレポートである「マイクログラフ通信簿」のページは、冊子または登録していただいたメールアドレスへお届けします。

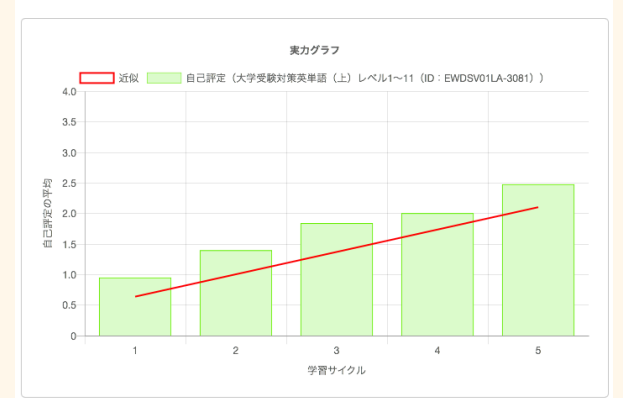
最初の配信は学習開始から3週間後を予定

マイクログラフ通信簿では以下の様な個人ごとの成績結果の確認ができます



例:1 学習量ランキング (ヒストグラム: WEBのみ)  
人数の分布を表すヒストグラムを見ることができます。横軸が学習量、縦軸が人数となっており、学年等の単位で今自分の学習量がどの位置にいるかがわかります。

## ●実力グラフ (一夜づけの効果が最小)



例:2 実力グラフ (一夜づけの効果が最小)  
実力のレベルで、英単語がどの程度身についているかを表しています。あなたの全ての学習を記録したビッグデータを計算することにより導き出されたグラフです。

## 記憶の新常識!? どうして覚えようとしなくて良いの?

特に▲上の実力グラフは他のドリル学習にはない機能です。みなさんも「夜おそくまで明日のテストのために勉強…」ということをしたことはありませんか？翌日のテストは良い結果だったかもしれません。ですが、そのとき覚えた知識、今どのくらい思い出せますか？

記憶(きおく)には覚えたと思っても時間が経つと消えてしまう記憶と、見流すだけでも長い期間深くに残る記憶の2種類\*があります。先ほどのテスト前日の勉強の例は時間が経つと消えてしまう記憶を使って問題を解くこととなります。なので、覚えたすぐ後のテストの点は良くても、時間が経つとそのほとんどを思い出せなくなってしまいます。

一方で深くに残る記憶は頭の中に記憶としては残ってはいませんが、その回数が少ないと、取り出して使うことや、思い出すことができません。ですが、その回数が積み重なり、思い出すことができるようになると「もう忘れない」という性質を持っています。実は、いつも私たちが会話に使っている日本語や、よく使う知識、よく出会う人の顔や名前などは、この深くに残る記憶のレベルで覚えているのです。つまり、英語での会話や、期末試験や入試などの英語の実力を測るテストは、時間が経つと消えてしまう記憶ではなく、深くに残る記憶のレベルで覚えないと実力レベルで身についたとは言えません。

マイクログラフ・スタディはこの潜在(せんざい)記憶と呼ばれる深くに残る記憶が見流すだけのわずかな学習でも積み上がっていくことに着目し、深くに残る記憶の部分のみを測定する方法に基づき、効率の良いタイミングで問題を出題しています。だから、覚えようとしなくても効果があるのです。

\*説明のため平易な表現をしています。研究論文等へのリンクは情報サイトに掲載中です。